

平成28年度

重点課題と主な活動報告

に併い運動機能に衰えが出てくることで、介護が必要になったり、寝たきりになったりする可能性が高くなります。さらに、認知症の患者数も増加が予想されます。そこで、これらを正しく理解し、予防するため、ひろば活動委員会では、医療介護の専門職の方々をお招きし、認知症予防講座を開催してきました。

今年度は、昨年度に引き続き上條記念病院のスタッフによる認知症予防講座を行い、介護予防、認知症の理解、口腔ケア、介護保険の4つについて学びました。講座では、医師などの専門家の講話の後、理学療法士による頭と体を使った健康運動やカラオケを使った体操、頭の体操などを行いました。継続して参加された方は、昨年より少し高度になった運動で脳がより活発に働き、心身ともに元気にならたと大変喜んでおられました。

さらに今年度は、3町会の公民館へ町会出前ケアひろばとして上條記念病院のスタッフが出張して、認知症の理解について、町会公民館でのケアひろばを開催しました。町会公民館の参加者は約70名でした。これは笹賀公民館で開催した時の人数に匹



下二子町会出前ケアひろば

敵しています。多くの方に認知症予防講座の必要性について理解していただく機会とすることができました。参加された方からは、講師の心の温まる指導のおかげで、もっと知りたい、もっとやってみたくなったという感想をいただきました。そこで、来年度の活動では、たくさんの方々の町会公民館で開催して、もっと多くの方に認知症予防講座の必要性を知っていただきたいと願っています。

福祉の地域づくり協議会

- 「笹賀地区見守り安心ネットワーク」の体制づくり
 - 協議会、初年度実施した実態調査に基づき検討開始
 - 「地域福祉のステーション」と「地域のボランティアセンター」の基本構想の策定
 - 他地区の事例の収集・研究・視察研修
- 認知症の予防とその対応
 - 「笹賀ケアひろば」認知症予防フォロー講座の開催
 - 「町会出前ケアひろば」の開催
- 買物弱者への支援
 - 食材宅配・弁当宅配の調査・検討結果を町会長・民生児童委員へ提言
- 個人情報の共有・保護の環境づくり
 - 協議会の案を町会長・民生児童委員へ説明検討会開催
 - 説明検討会の結果、各町会への意見聴取をまとめ再検討
- 子どもの登下校の安心見守りネットワークの再構築
 - 見守り活動団体の意見交換会の計画
- 地域の連携団体との交流と事業創出
 - 松本短期大学と地域づくり連携協定締結

協議会の目標

笹賀地区・地域包括システム
 笹賀モデル 見守り・支え合いシステム
『見守り安心ネットワーク』の構築を目指して
 3年間の重点課題への実践活動を通じて
築いた土台の上に、助け合い・支え合う体制づくりの推進

社会福祉協議会

「個人情報の共有と保護の環境づくり」の構築を目指して

高齢者や要援護者の見守り・支え合い活動は、対象となる方々の個人情報や支える側の個人情報保護・共有の取り扱いが重要となります。

このことから、本年度「個人情報の管理と開示・隣組見守り支援（助け合い）活動の仕組みと体制づくり」の取り組みを進めてきました。

助け合い体制を構築するための情報開示承諾書の作成をはじめ、見守り支援に必要な個人情報と台帳整備、及び要援護者の情報開示とマップの整備、更には隣組見守り支援（助け合い）体制について素案を取りまとめ、その結果を昨年11月に町会連合会・民生児童委員協議会に説明し意見聴取を行いました。

説明会での集約の結果、素案を各町会に持ち帰って検討し、二月中旬までに提出いただいた意見聴取結果を見て協議会としての案を取りまとめることにしています。

支え合い活動委員会

「食材・弁当宅配業者のご紹介をしています!!」

支え合い活動委員会の活動では、発足の26年度に、笹賀地区の高齢者の実態を把握するため、アンケートによる実態調査を実施し、数多くの課題が判明し、認識を新たにしました。対象高齢者422人の内、①「買い物ができない方」が81人(19%)、②「送迎があれば利用したい方」が126人(30%)、③「身近な場所で買物ができれば利用したい方」が205人(48%)でした。多くの課題の中から、重要度を検討した結果、「買い物支援」に焦点を当て課題解決に向け進めることとしました。

この結果を踏まえて、翌27年度は、課題解決の第一方策として、①「移動販売車の巡回販売」②「弁当宅配」に着目し、笹賀地区内の実態を把握するため実態調査をするともに、業者の動向を調査しました。

その結果、笹賀地区では移動販売業者は既に14町会中7町会、弁当販売業者は4町会で営業活動をしていることが判明し

ひろば活動委員会

「認知症予防講座」を広めるために

笹賀地区の人口や世帯数が減少傾向にあるにもかかわらず、高齢化率は、2年間で2%強増加しています。また、人は加齢

説明会や意見聴取での内容としては、少子高齢化や核家族化の進むなか、環境づくり構築の必要性を認める町会がある一方、取り組みの難しさを懸念する意見、また素案に対し提示した内容の修正や一部内容を疑問視する意見、更には町会の現状等を鑑み必要性そのものを否定するもの等、多種多様な意見が出されています。また台帳整備のあり方や個人情報の漏えい・開示の範囲・取扱いについても様々な意見が出されています。

今後、協議会としては、他地区の実践事例等も参考に町会連合会・民生児童委員協議会に協議し早急に提言してまいりたいと考えていますので、町会においても取扱いについてできるだけ早い時期に決定されることを希望します。

今年度は更に研究し「自宅までの配達」に焦点を当て、笹賀地区内の食材宅配業者、弁当宅配業者の営業実態を調査しました。

食材宅配業者5社、弁当宅配業者3社の調査結果をまとめ、過日の町会連合会および民生児童委員協議会の会議で提案・提言したところです。

支え合い活動委員会では町会と業者との橋渡し役を務めてまいります。

お問い合わせやお申込みご希望の方は、町会長さんもしくは民生児童委員さんにご相談ください。



食材の宅配